

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第11号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



大田原マラソン出場者（大田原市の行事に大学として積極的に参加。約30名。）



緊迫のスタート



建設中の国際医療福祉大学クリニック

= 目次 =

	ページ
出来事	2
学長の日程から	2
大学来訪者	2
左煥琛 上海市副市長来訪	2
少林寺拳法部、北関東大会 最優秀賞（優勝）者出る	2
お知らせ	2
学生室から	2
入試事務室から	2
学生室から	3
委員会報告	3
学生部・学生委員会報告	3
国際交流委員会	3
紀要委員会	3

	ページ
図書館受入図書	3
学科・センターだより	3
看護学科	3
理学療法学科	3
作業療法学科	4
言語聴覚障害学科	4
放射線・情報科学科	4
語学教育センター	4
教員紹介	4
サークル紹介	5
風花祭をふりかえって	5
リレーエッセイ	6
編集後記	6

撮影：作業療法学科2年
瀧脇重文（写真部）

出来事

◇学長の日程から

- *平成8年11月7日(木)
栃木県立大田原高等学校特別講演
(那須野が原ハーモニーホール)
- *平成8年11月13日(水)
岡山精神保健大会
- *平成8年11月18日(月)
WAM新春座談会(社会福祉医療事業団)
- *平成8年11月20日(水)
フランスベッド財団公的介護保険シンポジウム

◇大学来訪者

- *平成8年11月8日(金)
那須与一公ゆかりの地関係市町 15名
- *平成8年11月20日(水)
上海市 左煥琛副市長他3名
- *平成8年11月26日(火)
水巻中正先生特別講演
- *平成8年11月28日(木)
厚生行政連携事業参加市町村職員 12名

◇左煥琛上海市副市長来訪

11月19日から20日にかけて、中国から左煥琛上海市副市長が本大学及び関係の施設を視察に訪れました。左副市長は上海市の衛生部門を担当されており、今回の来日は11月18・19日に神戸で開催されたWHO神戸国際会議に出席するとともに、日本の各医療福祉関連施設を見学することが目的で、我が国際医療福祉大学については大学キャンパス及び関連施設であるマロニエ苑、栃の実荘をそれぞれ視察されました。

19・20日の両日開催された歓迎の食事会には、高木



理事長以下各学科の先生方も参加され、日中両国の医療福祉の現状やお互いの抱える問題点とその解決等について積極的な意見交換を行いました。

また、将来、優秀な学生を上海市からも留学生として迎えたい旨を高木理事長が述べ、これに対し左副市長も是非協力したいと応える等、上海市と大学の今後の友好的関係を約束しました。

◇少林寺拳法部、北関東大会最優秀賞(優勝)者出る

11月10日に行われた北関東大会で、女子右段の部組演武で作業療法学科2年竹内利江、那須大田原支部道場落合禮子組が最優秀賞(優勝)をとり、女子段外の部単演で理学療法学科2年阿部幸が優秀賞(2位)をとりました。少林寺拳法は二人一組で行う組演武と、一人で行う単演そして防具をつけて行う運用法があります。今年は来年迎える少林寺拳法創始50周年の準備年なので全国大会はありませんでしたが、来年の大会に向けて部員一同練習に励んでいきたい。

(作業療法学科2年 竹内利江)



お知らせ

◇学生室から

年末年始の窓口業務について

年末年始の窓口業務は、下記の通りです。年内の業務最終日に受け付けた各種証明書の発行は、年明け以降となりますので、学割等は早めの申請をお願いします。これから冬休み、後期試験期間を経て春休みに入りますが、特に休みの直前は学割の発行等で窓口が混雑します。また、学割は年間10枚、同一月内は2枚までしか発行できませんので、計画的な手続き、使用を心がけてください。

(年末年始の窓口業務)

12月27日(金)まで …通常通り
1月6日(月)より
12月28日(土)～1月5日(日)…休 止

◇入試事務室

97年度 医療福祉学部入試日程のお知らせ

試験区分	願書受付期間 [消印有効]	入学試験日	合格発表日	入学手續期間 [消印有効]
高校推薦入試	平成9年1月6日(月) 平成9年1月18日(土)	平成9年1月25日(土)	平成9年1月31日(金)	平成9年1月31日(金) 平成9年2月6日(木)
特別選抜入試	平成9年1月27日(月) 平成9年2月7日(金)	平成9年2月15日(土)	平成9年2月27日(木)	平成9年2月27日(木) 平成9年3月5日(水)
一般入試	前期A日程 仙台	平成9年1月8日(水)	平成9年2月4日(火)	平成9年2月14日(金)
	前期B日程 大田原 名古屋 福岡	平成9年1月23日(木)	平成9年2月7日(金)	平成9年2月20日(木)
	後期日程 大田原	平成9年2月21日(金) 平成9年3月7日(金)	平成9年3月18日(火)	平成9年3月26日(水) 平成9年3月29日(土)

◇学生室から

カフェテリア棟が変わります

来年度の学生数増加に伴う、カフェテリア棟の増築工事がこのほど始まりました。

計画では、同棟の一部を2階建として、カフェテリアのフロアの増設を図るほか、1階部分の店舗の配置等も大幅に見直される予定です。3月末にはこれらの工事が完了しますが、工事中は全面閉鎖となる期間もあり、E棟ロビーでの弁当販売等を計画中です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

委員会報告

◇学生部・学生委員会報告

「学生生活の手引き」イラスト募集中!

学生部・学生委員会では、平成9年度版「学生生活の手引き」の表紙などを飾るイラストを、皆さんから募集しています。

応募作品の中で最優秀の作品は、「学生生活の手引き」の表紙に印刷され、全学生に配布されるほか、大学オリジナルグッズのプレゼントも。締め切りは1月10日(金)。詳しくは、学内掲示をご覧ください。

◇国際交流委員会

- (1)栃木県総合教育センター主催「国際交流活動研修会」のシンポジウム「私の考える交流・協力のあり方」が11月29日開催され、本学から付栄さん(PT2年)がシンポジストとして参加し、体験に基づく提案を行った。田中(美)と藤沢委員が研修会に参加した。
- (2)将来海外での学生の研修、ボランティア活動への参加が考えられるので、大学の対応、関わり方などについて素案を作るために意見を交換している。
- (3)委員会 10月2日(水)、11月6日(水)、12月4日(水)

◇紀要委員会

第7回委員会を10月22日(火)、第8回委員会を11月12日(火)に開催しました。現在、紀要第1巻については著者校正を実施中、また、紀要第2巻については論文投稿の締切日を過ぎて未着の論文が若干あります。

委員会において倫理委員会の設置の必要性が問題提起されました。近年は研究実験等で動物虐待などの行為があれば、如何に研究内容が優れていても論文却下という厳しい学会もあります。学術雑誌によっては論文投稿の時点で倫理委員会を経た研究であるか否かが問われます。倫理委員会の措置は、紀要に限ったことでなく、大学全体で検討する必要があります。

図書館受入図書

10月10日現在、寄贈図書についての受入は下記のとおりです。(順序は受入順)

丸山仁司様：PT・OT国家試験のための運動解剖生理学のまとめ 第2版(1996)

小宮弘毅様：保健・医療・福祉にかかわる医療資源の有効活用に関する研究 平成7年度研究報告書(1996)

川北祐幸様：現代の医療福祉建築(1996)

城ヶ端初子様：看護覚え書き(1996)

三井速雄様：低体力者の健康づくり研究(1996)

外務省：我が国の政府開発援助(1996)

大田原女子高等学校：ラオスの民話、その他

学科・センターだより

◇看護学科

2年生、真剣に採血実習に取り組む!!

これまでの学内における「演習・実習」では、洗髪・食事介助やベットメイキングなど日常生活援助技術に関するものが主でしたが、今回はじめて診療の協力技術として採血の実習に取り組んでいます。



講義・注射器の取り扱い方、無菌操作・上腕モデル使用による練習・デモンストレーションを経て学生相互の採血という学習過程をたどります。いかに相手の苦痛や不安を軽減しながら、正確に実施できるかが問われますので、緊張と真剣さが実習室の雰囲気を盛り上げて、すばらしい実習風景なのです。(城ヶ端初子)

◇理学療法学科

11月15日(金)は、いも煮会(収穫祭)を行いました。翌週はPT学科から21名参加した大田原マラソンがありました。その時、PT学科の2人を見て、久々に胸が熱くなりました。1人は、体調の急変でした。道端でうつむいていました。今1人は、ポイント通過直前に打ちきりとなったのです。それでも、自分で美原公園に戻り、そこで涙しながらうつむく姿でした。

他人と走るレースとはいっても自分との戦い、自分への挑戦が長距離走。2人にとっては得難い経験となったと思います。また、2人の無念の後ろ姿、くやし涙に心が動かされました。

年末となり1年を振り返る時期です。大田原の12月の寒さに身を引きしめつつ、自分のアイデンティティーに対しても身を引きしめたい時期です。来年もチャレンジ!! (久保 晃)

◇作業療法学科

古川宏先生(神戸大学)、矢谷令子先生(札幌医科大学)、リン安田先生(Rancho Los Amigos Medical Center)の講義が無事終了しました。作業療法士の中で義肢・装具学の第一人者である古川先生、アメリカでの豊富な経験を元に具体的な事例を挙げての講義をして下さったリン安田先生とその講義解説をして下さった矢谷先生、3先生方の講義は学生・職員にとって大変興味深く勉強になるものでした。本当にどうもありがとうございました。

追記:リン安田先生の2カ国語授業に見事についていた学生。先生方からの評判も上々でした。

(下田信明)

◇言語聴覚障害学科

言語聴覚センターのオープニングまであと2カ月!

言語聴覚障害学科には、もう既に言語聴覚センターの予約申し込みの長いリストが出来ています。今春以来、学科の教員が、宇都宮および県北地域を中心に、行政担当者や病院、保健所、学校、福祉機関などを精力的に訪問し、PRにつとめてきました。12月半ばには、市の医療、保健衛生、教育、福祉の各関係者をお招きし、センターの説明会を開く予定です。センターに対する期待や要望が述べられるのではないかと思います。地域に開かれたセンターに、様々なコミュニケーション障害をもつ大勢の方々にいらして頂き、学生諸君の臨床実習をより幅の広いものにしたと考えています。

(大石敬子)

◇放射線・情報科学科

当学科では平成8年度後期から水曜日第1時限に2年生を対象とする「放射線・情報科学特論」を設けている。これは本学が医療福祉分野における総合大学を目指す上で、それを推進する具体的な方法として、放射線医療分野は勿論のこと他学科の分野の貴重な最新情報等を学生に提供することにより広い視野を身に付けて欲しいとの思いから開講したものである。他学科の先生方のご協力に感謝している。

また、学科内で教員研究についての会合をもった。研究は各人が専門性を有し、討論をどうして互いの研究が切磋琢磨され、質的なレベルアップとなった。

(野原功全)

◇語学教育センター

1 UHWSスピーチコンテスト

ネイティブの先生が担当する英語Ⅱ-2では、2年生全部がケネディ大統領又はキング牧師の演説の一部を学習し、各クラスで実演します。それぞれのクラスの1位のスピーカー20名(各学科4名づつ)が学長杯を目指して1月14日(火)18時からコンテストに参加します。1位から3位までには商品も授与されます。又この折に、谷浩明先生、真鍋淳君(ST2年)の作

曲によるキャンパスソングの発表も予定しています。大勢の皆さまの御来場をお待ちしております。場所はE棟101です。

(宮尾洋子)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

黒澤和生(くろさわ かずお)



①理学療法学科・講師、②1958年2月21日、③国立療養所近畿中央病院付属リハビリテーション学院、杏林大学大学院保健学研究科、④理学療法学、⑤埼玉医科大学短期大学、⑥プローブ反応時間からみた移動能率に関する研究、

⑦身体運動学、病態運動学、電気診断学、⑧ギター、落語

菅原洋子(すがわら ようこ)



①作業療法学科・講師、②1949年、③法政大学、④身体障害、⑤国立療養所村山病院、⑥義肢・装具学・リハビリテーション関連機器(共著)(協同医書)、⑦作業分析Ⅰ・Ⅱ、実験研究、副子論、⑧山歩き

藤田郁代(ふじた いくよ)



①言語聴覚障害学科 教授、②1945年、③広島大学、国立身障リハセンター学院、④脳損傷によるコミュニケーション障害(特に、失語症)、⑤国立身障リハセンター、⑥「失語症を理解する」(福祉図書出版)、⑦言語障害診断学、

成人言語障害学ほか、⑧花を育てること。特に、香りの高いバラとカトレアを育てることに夢中です。バラは手を掛けるほどよく咲きますが、カトレアはあまり手を掛けないで見守ってやるのが大切です。人を育てることにも似ていて、個性的な花たちにあきません。

山口賢一(やまぐち けんいち)



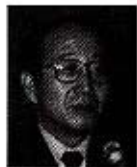
①放射線・情報科学科・助手、②1963年12月17日、③東京電機大学大学院工学研究科、千葉大学医学部附属診療放射線技師学校、④磁気共鳴イメージング、⑤千葉県救急医療センター、⑥MRIによる温度計測、⑦医用画像技術学実験、放射線計測学実験、電気・電子工学実験、⑧スキー、テニス、ツーリング、旅行

萩原茂久（はぎわら しげひさ）



①語学教育センター・教授、②1929年、
③東京大学大学院人文科学研究科博士
課程、④フランス文学（ラ・ファイエッ
ト夫人の作品を中心とする十七世紀小
説および情念分析論）、⑤獨協医科大
学（名誉教授）、⑥『心理小説におけ
る情念と自我—ラ・ファイエット夫人研究—』1980年
風間書房、⑦文学、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、
⑧週一・二回の身体トレーニング

内西兼一郎（うちにし けんいちろう）



①医学教育センター・教授、②1935年
10月8日、③千葉大学医学部、④整形
外科学、⑤慶応義塾大学整形外科助教
授、宮内庁・侍医（皇太后陛下）、プ
ロ野球チームドクター（ヤクルト・ス
ワローズ）、⑥手の外科学、末梢神経
損傷診療マニュアル、知覚の評価と再教育リハビリテー
ション（翻訳）、手の器具療法（翻訳）など、⑦整形
外科学、スポーツ医学、⑧音楽（クラシック）、囲碁、
プロ野球観戦、ゴルフ、ウォーキング

サークル紹介

押忍 空手道部です

俺たちは、今年6月、日本空手協会に正式に加盟し、
月水金は大田原の道場に通り、木は体育館で練習して
います。去年4月からスタートし、ここまでこれたの
は、仲間のやる気と、努力があったからだと思ひます。
真剣になって練習している仲間は、カッコいいです。
俺たちは、一期生としてこの大学に空手道部の伝統を
作っていきます。 押忍

（主将 放射線・情報科学科2年 加賀谷栄徳）

剣道部

剣道部は平成8年4月に飲み会の席で発足しました。
今思うと随分、安易な作り方をしてしまったものだと
思ひます。だから、「いつになっても締まりのない部
なのかな」と少し後悔しています。

けれど、週に3回、細々と活動を続け11月17日には
看護剣道大会に出場することまでになりました。勝敗
は別として久しぶりの試合を、出場する人もしない人
も含め、部員全員で楽しんできたと思ひています。

（看護学科2年 島山亜希子）

All Round Outdoor Circle “ALBINO”

決して止まることなく移り変わる四季の中で時を過
ごす楽しみ—アウトドア。All Round Outdoor Circle
“ALBINO”は、アウトドアを誰にでも楽しく気軽に、
そして本格的な体験方法を提案し続けるDivisoire。

“ALBINO”では、週一回のミーティング、月一回
のイベント兼バースデイパーティーイベントを開催。
バーベQ、バスタパーティー、キャンプ、紅葉狩り等
のイベントを開催しました。今、ALBINO新規ス
タッフ募集中。

（放射線・情報科学科2年 山本貴正）

風花祭をふりかえって

軽音楽部

OT有志のステージが終わって次は軽音の番だ。
セッティングに使える時間は30分、まず機材をステ
ージに乗せる。ドラム、Gアンプ、Bアンプ、キーボ
ードを所定の位置に置き電源を引く。ラインを引きマイ
クを立て結線していく。問題はドラムだ。合計9本の
マイクで音を拾う。右のバスドラ次に左、スネア、ハ
イハット、たたいて音を出しながらミキサーでバラ
ンスをとっていく。4つのタム、2つのフロア、6枚の
シンバル、一通り済むとリズムを刻んで更に微調整を
する。OKだ。次にベース、ギター、キーボードのバ
ランス取りをして、更にバンド全体で音を出しては止
め調整を繰り返す。すでに予定の時間は過ぎている。
OKだ。スタッフがステージをおりる。自分も客席に
回る一冊目が始まった、、、、、「サンダコノ音ハ」。

（理学療法学科2年 小西健一郎）

写真部、風花祭を撮る

華やかにボルテージが上がる中、ちょっぴり大人の
カクテルバーは慎まじやかにホロ酔い気分を演出して
いました。独自アンケートより御来店頂いたのは、566
人（本学生：一般＝1：2）、上は86歳から下は4歳
までの方を桃色の世界にいざないました。

バーの外に出れば、他のサークルの活躍、催しをカ
メラに収め、アルバムの為のフィルムのストックも数
多くできました。これからも更に写真部らしく視覚的
な思い出を作っていこうと思ひます。

（作業療法学科2年 瀧脇重文）

大学祭準備にて（華道部）

私達華道部の大学祭への展示準備は、野山を歩き回
り創作欲の湧く（お金のかからないという説も）花材
を探し求める毎日でした。その為か思いがけず気に入
った作品に仕上がったり、近隣の住民の方々とのおふれあ
いを持てたりと良い方向に進むことができたように思
えます。道端で草花を摘む怪しい若者を暖かく見守っ
てくださった方々、ずうずうしく押しかけた見知らぬ
学生に快く庭の草花を分けてくださった方々に心から
感謝致します。

（作業療法学科2年 佐藤水保）

少林寺拳法部、学祭で団結力が高まる!

少林寺拳法部は両日ステージで演武等を披露し、また、だんご汁屋さんを出しました。部員が少なく、さらに両日ステージ等で発表する人はさらに少なかった為、ドタバタ気味な雰囲気は漂わせていたのですが、このことで団結力が強まり、大成功?だったと思います。10月27日は地元那須大田原支部道場から少年拳士に来ていただきステージで発表してもらいました。かわいい少年拳士の発表に周囲の人も心をなやませました。だんご汁の方は全くの利益なしでしたが皆で楽しめました。最後に、月木体育館で活躍中です。部員募集中。

(作業療法学科2年 竹内利江)

“ショータイム!!”

私達人形劇サークルは風花祭において“赤ずきん”と“三枚のおふだ”を行ないました。仲間の誰もが人形を作る事が初めての経験であり、また最後まで声の担当が決まらない等ドタバタしたまま当日を迎えました。最初の公演には客が3人しかおらずどうなるのか心配でしたが、二日間で約200人もの人に来てくれました。子供達の不思議そうな表情とその後の笑みが私達にとってなによりも大きい喜びでした。人形の操作の仕方、セリフの読み間違い等反省点もありますが、とりあえず無事に終わってホッとしています。来年もがんばるぞ!

(言語聴覚障害学科1年 鈴木信貴)

風花祭に参加することができて

私達バトミントン部は、先日行われた風花祭において焼きいもとスイートポテトの販売を行いました。他の部やサークルと比べてとても地味な内容だったので、どうなるのかとても不安でしたが、天候に恵まれたせいもあったのか予想を大きく上回った売れ行きで、2日間休む暇もないほど大忙しでした。準備期間が短いながらも良い結果を取ることができ、部員同士の団結力も深めることができ、とても満足しています。いろいろと課題が残りましたが、来年も是非とも“焼きいも屋さん”をやりたいと思います。

(言語聴覚障害学科1年 鈴木孝幸)

合唱部の文化祭

我々合唱部は10月26日学内では「君をのせて」「もみじ」「涙をこえて」「Hail Holy Queen」「I will follow him」「赤とんぼ」「流浪の民」を歌いました。他に27日室井病院の文化祭に参加しました。最後に「もみじ」と「赤とんぼ」は参加者も一緒に歌い、特にこのことが心に残っています。あのような感動をまた味わえたらいいなと思います。

(放射線・情報科学科2年 松田浩充)

初日ボロボロ2日目好評タコ(?)焼

私達山岳スキー部は風花祭にあたり、今回は展示と出店で参加しました。初のタコ焼に挑戦したものの、初日は風で火が消えてしまい、火力を強くしすぎたら焦げてしまったりとボロボロでした。2日目によりやく要領を得てうまく焼けるようになり、中身のタコをイカに変更したところ、他の隠味も効いて味は好評。数もかなりさばりました。次回からは初日からバリバリ焼きまくるつもりです。

(放射線・情報科学科2年 坂本裕明)

リレーエッセイ

教え子との職場

作業療法学科 田中 繁

作業療法学科の谷口敬道さんよりリレーを引き継いだ。現在作業療法学科で助手をしている谷口さんと下田さんはかつての教え子である。教え子であるとはいっても、非常勤講師として人間工学を教えていたときの学生なので、大きな顔をして“教え子”などとはいえないかも知れない。

元来名前を覚えるのが不得意であるので、名前と顔は一致しなかったが、久しぶりに彼らと会ったとき教えたことは思い出せた。何となく複雑な気持ちである。その頃は教師面していた者が、対等な立場となるのであるから。“あの当時はよけいなことは言わなかったかな?”と若干心配にもなった。しかし、対等とはいっても、それはこっちの勝手な考えであり、谷口さん達にとっては何となく当時の教師が意識に残っているのかも知れない。もっと気楽につきあいたい、なんという感じのする時がないわけではない。ぜひ、これから余裕が出れば研究なども始め、教え子との職場を楽しみたいと考えている。

“武蔵野の自然にたたくむ学院の 教え子と今教鞭をとり 時の流れを 思いながら”

なぜか仲良しになれそうな 言語聴覚障害学の廣田先生にバトンを渡します。

次回執筆: 廣田栄子先生(言語聴覚障害学科)

編集後記

今年もいよいよ残すところあとわずかとなりましたが、読者の皆様にとってはどのような年であったでしょうか?開学から2年が過ぎようとしている国際医療福祉大学のキャンパス内には多くの変化が見られています。キャンパス内を行き交う人々の数も多くなり、また、早くも、早春のふきのとうのように新しい建物がその姿を現わそうとしており、本学が一步一步確実に成長している姿が実感されます。

最後に、今年の最終号である第11号をお送りするにあたって、師走の忙しい時期に、しかも短期間に御執筆いただいた皆様に感謝いたします。(齋藤 昭彦)